

## 平成26年度 第3回 倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：

平成26年 7月22日（火） 16：45～17：00

開催場所：

独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：

坂西信彦、末松直幸、野口利幸、内村美子、益田博文、蛭原賢司、和田冬彦

審議事項：

申請番号 2517

【課題名】 認知症入院患者の排便状況と下痢による有害事象について

【申請者】 高崎 ゆかり（菊池病院 看護師長）

【研究の概要】 当病棟では、精神疾患の慢性期、認知症、精神疾患や認知症に身体疾患を併せ持つ患者が入院する 44 床の病棟である。その中で統合失調症の患者 6 名（男性 3 名、女性 3 名）は、幻覚・妄想が活発化で日常生活行動や人間関係に支障をきたす、逸脱行為や暴力を繰り返すなど、症状の安定がみられず入院が長期化している。うち 3 名は隔離を繰り返し、生活空間も生活行動も制限されている。また、その方たちの多くが、薬剤に対して副作用の出現が顕著で重篤になりやすく、身体疾患合併症から薬剤の制限がある等、薬物治療の効果が得られにくい。

そこで、看護師が行える非薬物療法（ラベンダーアロマセラピー）を用いて患者の精神状態の安定につながる試みをしたと考えた。ラベンダーアロマセラピーが慢性期の統合失調症患者へ及ぼす影響を明らかにし、リラクゼーションを促す刺激としての有効性を非侵襲的に迅速測定できる唾液アミラーゼ測定を用いて調査する。

【判定】 承認